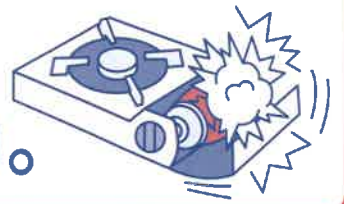


安全にご使用いただくため 必ず守ってください!

カセットボンベが**異常過熱**される
扱いは絶対にしないでください。



カセットこんろやカセットボンベを不適切に取り扱えば**火災**や**破裂事故**が発生します。

容器カバーを覆う調理器具をのせない



カセットこんろを2台並べてその上に大きな鉄板をのせない。

容器カバーの上にかぶさるような大きな調理器具をのせない。

ストーブの近くなど高温になるところに置かない



ストーブ・ファンヒーターなどの近くに、カセットこんろ・カセットボンベを置かない。

電気調理器の上に置かない



電気調理器の上にカセットこんろやカセットボンベを置かない。

他の熱源の上や近くにボンベを置かない



ガスコンロ・七輪・鉄板焼器や焼鳥器・炭焼台など熱を出す他の調理器具のそばにカセットボンベを置かない。

炭の火起こしなど使用禁止の使い方をしない



セラミックスや石などで作られた蓄熱性の高い調理器具は使わない。

炭の火起こしに使わない。

たき火や炭火の近くで使わない



たき火や炭火の近くにカセットボンベを置かない。

残ったガスを室内でガス抜きしない



室内でカセットボンベのガス抜き作業をしない。

テント内や車内、狭い場所、締め切った場所で使わない



一酸化炭素中毒・窒息死に至る危険があります。

カセットボンベの廃棄はガスを使い切ってから

捨てる時は
振って
確認を！



1

缶を振っても
**シャカシャカ
音がしない**

中の
**ガスが
ない**

2

廃棄

お住まいの自治体の
ゴミの分別回収
ルールにしたがって
ください。

カセットボンベに
穴を開けて
ガスを抜くと
火事、爆発の
危険あり！

**絶対に
しないでください**

- カセットボンベにガスが残っている場合は、お湯を沸かすなど、カセットこんろで燃焼に使う缶の中を空にしてください。
- 燃焼に使えない古いカセットボンベの処理方法はメーカーまたは以下のカセットボンベお客様センターにお問い合わせください。
問合せ先：カセットボンベお客様センター 0120-14-9996（平日10:00～16:00まで）

経年劣化にご注意を！

古くなったカセットこんろ・カセットボンベは**ガス漏れの危険性**が生じます。

カセットこんろの場合

製造後約**10年**を目安に
買い替えのご検討を



製造年月の表示例

本体に貼ってある
「**製造年月の表示**」シールを確認してください。



カセットボンベの場合

製造後約**7年**を目安に
使い切る



製造年月日の表示例

本体の底面に印字してある
「**製造年月日の表示**」を確認してください。



石油暖房機 安全 ☒ チェックリスト

まずはご自分でできる点検を…



チェック項目	石油ファンヒーター	石油ストーブ	FF式石油温風暖房機 半密閉式 石油暖房機	異常時の処置
①洗濯物を上に干していませんか？	☐	☐	☐	洗濯物は機器から離す
②給油は火を消してから行っていますか？	☒	☒	—	必ず火を消して給油
③カーテンの近くで使用していませんか？	☐	☐	☐	機器はカーテンから離す
④機器の周辺の燃えやすいものや布団などはありませんか？	☒	☒	☒	布団や燃えやすいものなどに近づけない
⑤スプレー缶を近くに置いたり、近くで使用していませんか？	☐	☐	☐	スプレー缶を機器の近くに置かない、使用しない
⑥本体から変なおいしはしていませんか？	☒	☒	☒	販売店またはメーカーへ連絡
⑦温風空気取入口フィルターや燃焼空気取入口フィルターにほこりがついていませんか？	☐	—	☐	フィルターを掃除(定期的に)(※1)
⑧温風吹出口にほこりがついていませんか？	☒	—	☒	温風吹出口を掃除(定期的に)(※1)
⑨置台にほこりやゴミがたまっていますか？	☐	☐	☐	置台を掃除
⑩不良灯油を使用していませんか？	☒	☒	☒	不良灯油は使用しない
⑪給排気筒・排気筒がゴミや雪などで詰っていませんか？	—	—	☐	ゴミや雪を取り除く
⑫給排気筒・排気筒が外れていませんか？	—	—	☒	販売店またはメーカーへ連絡
⑬ゴム製送油管が古くなり、ひび割れなどが入っていたり、接続部の油漏れはありませんか？	—	—	☐	販売店またはメーカーへ連絡

※1 取扱説明書を参照

少しでもおかしいと思ったらお買い上げの販売店または、専門業者にご相談ください。

点検については販売店、石油機器技術管理士(※2)のいるお店又はメーカー(お客様相談センター、サービスセンター等)までお問い合わせください。点検・整備は有料です。

※2 (一財)日本石油燃焼機器保守協会で行う講習会修了者

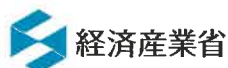
石油暖房機には寿命があります。8年経ったら点検・取替えを！



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

<https://www.jgka.or.jp/>



経済産業省



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

石油連盟 Fuel+

全国燃焼機器整備業連合会



詳細はこちらをご覧ください

石油暖房機を 安全に正しく使う

8 POINTS

POINT!

1 必ず火を消して給油! 給油後、タンクの灯油漏れがないか確認してセット!

- 暖房機の火が消えたことを確認してから、給油をしてください。消火せずに給油すると火災のおそれがあります。
- 給油後、カートリッジタンクの口金は確実に締め、灯油漏れがないかを確認しましょう。

①まず消火!



②火が消えたのを確認してタンクを抜く



③給油して



④キチッとふたが閉められていることを確認



⑤口金を下にして漏れのないことを確認・セット

POINT!

5 火災の原因に! 農機具などの燃料用のガソリン・混合油は絶対に使用しない!



POINT!

6 1時間に1~2回(1~2分)換気を行ってください!



- 換気が不十分だと、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。

換気するときは、換気扇を使用したり、2カ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。

POINT!

2 衣類などの乾燥はNG!

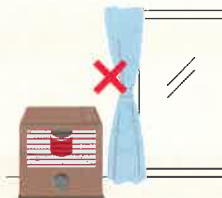
- 石油ストーブの上に衣類などを干して乾燥させないでください。万一衣類が落ちた場合、火災の原因になるおそれがあります。



POINT!

3 カーテンやふとん、紙類など燃えやすい物をそばに置かない!

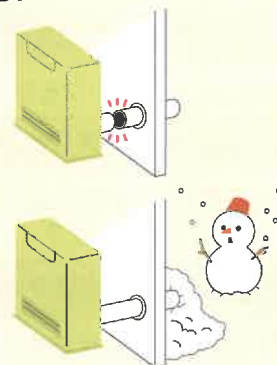
- 燃えやすいものの近くで使うのはやめましょう。
- 石油ストーブの近くや器具内にマッチやライターを置くのはやめましょう。



POINT!

7 FF式石油暖房機や半密閉式石油暖房機は定期的に点検を!

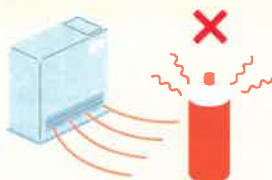
- 暖房機器には寿命がありますので長期間使用されている機器は点検してください。
- 本体と給排気筒が正しく設置されていないと運転中に排気が室内に漏れて危険です。
- 給排気筒トップのまわりが雪などで塞がれている場合は取りのぞいてください。



POINT!

4 スプレー缶を暖房機の上や温風のあたる場所に置かない!

- 熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



POINT!

8 不良灯油は使わないで!

- 変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。

長期間保管した灯油は変質している可能性があります。

- 昨シーズンから持ち越したもの
- 日光のあたる場所で長期保管したもの

※乳白色のポリタンクはご使用にならないでください。

注意

- ・工業会では、訪問による点検は実施しておりません
- ・ガス燃焼機器の点検は有償となります お使いのメーカーにお問い合わせください
- ・点検を受ける際は、必ず訪問者の事業者名、身分証、連絡先等を確認してください

ガス燃焼機器には **寿命**があります



お使いのガス機器は
どのくらいたつて
いますか？

10

年
たったら

点検・
取替えを！

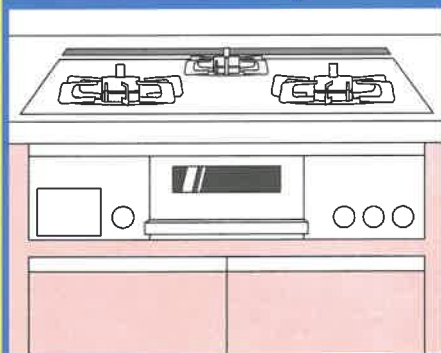
お使いの機器は何年経過していますか？

ガス燃焼機器にも人間と同じように寿命があります。

お使いの機器が思わぬ事故につながらないように、
何年ぐらい使ったかチェックしてみることが大切です。

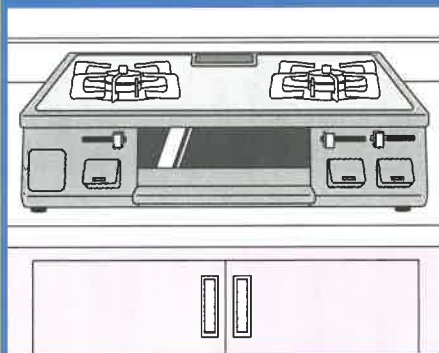
設置・購入からの年数をチェックしてみましょう

ビルトインコンロ



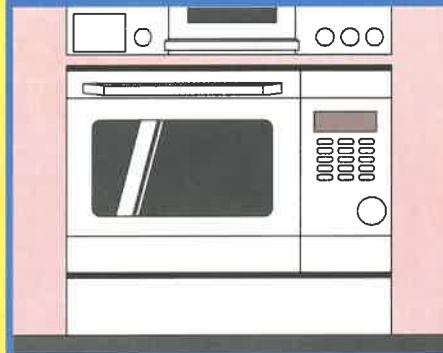
設置から 年 経過

テーブルコンロ



設置から 年 経過

ガスオーブン



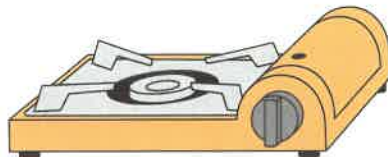
設置から 年 経過

ガス炊飯器



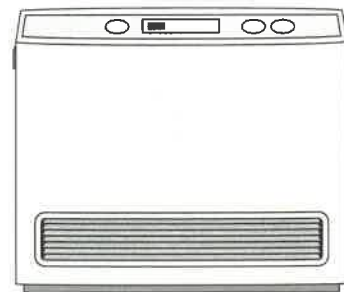
購入から 年 経過

カセットこんろ



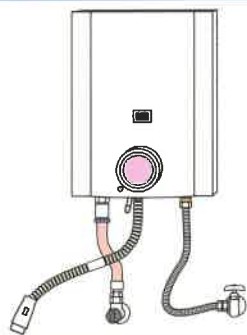
購入から 年 経過

ガスファンヒーター



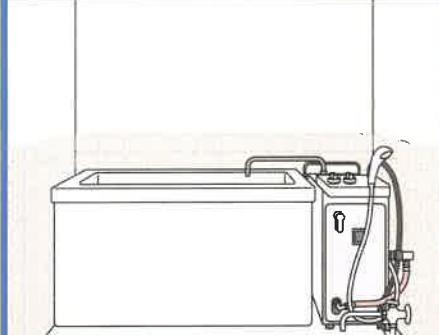
購入から 年 経過

小型湯沸器



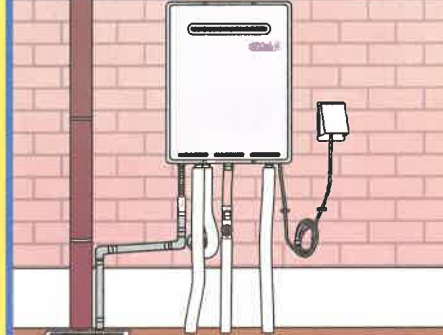
設置から 年 経過

ガスふろがま



設置から 年 経過

ガス給湯器



設置から 年 経過

その他のガス機器

設置から 年 経過

詳しくは（一社）日本ガス石油機器工業会のホームページをご覧ください。

<https://www.jgka.or.jp/>



今、お使いのガスコードやソケットは ここにご注意ください!

2019年から2023年までの5年間で、ガス栓とガス機器をつなぐガスコードやソケットで起きた事故を分析したところ、経年劣化に伴う製品事故(火災等)が増えています。また、製品事故(火災等)の60%※が使用者の不注意が原因でした。

※(一社)日本ガス石油機器工業会調べ



ガスコード



ゴム管用ソケット

チェック
ポイント
1

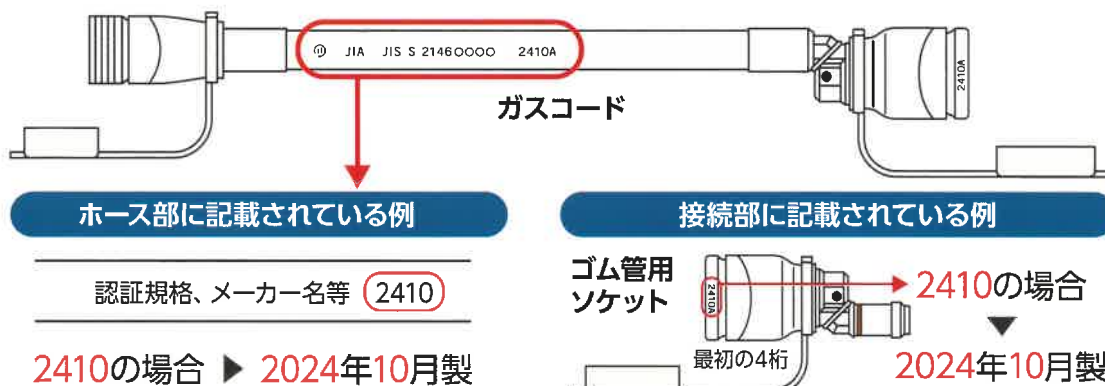
何年お使いでしょうか?

ガスコードやゴム管用ソケットには寿命があり
目安は7年です。

製造年月から寿命をチェックしましょう。

古いガス接続具を使用している場合、ゴム部分が劣化(硬化)して割れ、ガス漏れなどの事故が発生する危険性があります。外観上異常がなくてもガス機器を取り替える際、または7年程度を目安に新しいものと取り替えてください。

製造年月の確認方法



一般社団法人 日本ガス協会

一般財団法人 日本ガス機器検査協会
Japan Gas Appliances Inspection Association

JLIA 一般社団法人
日本エルピーガス供給機器工業会

一般社団法人 全国LPガス協会

一般財団法人
LIA 日本エルピーガス機器検査協会
Japan L.P.Gas Instrument Inspection Association (LIA)

JGKA 一般社団法人
日本ガス石油機器工業会

チェック
ポイント
2

きちんと接続されていますか？

きちんと接続されていないと接続不十分によるガス漏れ事故や火災事故につながります。
ソケットとガス栓との接続は青線で確認しましょう。

ソケットとガス栓の誤装着の例



きちんと接続
されている場合



摺動部が完全に見えている

はずれている場合
(不完全接続)



摺動部が隠れている

掃除をしたのちに
特に注意！

※現在販売されている製品は青線で確認できます。

チェック
ポイント
3

内部にゴミが入っていませんか？

ソケットにゴミが入っていると事故の原因となります。
ソケットを接続するときは、ソケットの接続面に
ゴミが入りこまないように注意しましょう。

確認すれば
安心だね。



接続面



使用しないときはキャップをつけましょう。



チェック
ポイント
4

下記のプラグやゴム管もご確認ください。

器具用スリムプラグ、ガス栓用プラグも同様に外観上異常がなくてもガス機器を取り替える際、
または7年程度を目安に新しいものと取り替えてください。



ガス栓用プラグ



器具用スリムプラグ

古いガス用ゴム管

端部がゆるみ
きった状態

ゴム管 (ソフトコード)

※異常がある場合はただちに取り替えてください。

ひび割れ 油・汚れ



詳しくは (一社) 日本ガス石油機器工業会のホームページをご覧ください。

<https://www.jgka.or.jp/>



長期間使用した製品は
重大な事故発生のおそれがあります！



寿命があります。

石油給湯機・石油ふろがまには

よし！



石油
給湯機

10年

石油
ふろがま

8年※経ったら

点検・取替えを!!

※製品により10年の場合もあります。



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

<https://www.jgka.or.jp/>



経済産業省



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

石油連盟 Fuel+

全国燃焼機器整備業連合会



詳細はこちらを
ご覧ください

**石油給湯機****石油ふろがま**

安全 ☒ チェックリスト

まずはご自分でできる点検を…

屋内設置型



屋外設置型



チェック項目	屋内設置	屋外設置	備考
① 機器の周囲に可燃物を置いていませんか？	☐	☐	可燃物は機器から離してください
② 本体から変なにおいはいしていませんか？	☐	☐	販売店またはメーカーまでご連絡ください
③ 燃焼音が大きくなっていませんか？	☐	☐	販売店またはメーカーまでご連絡ください
④ 給排気筒・排気筒・排気口が ゴミや雪などで詰っていませんか？	☐	☐	ゴミや雪を取り除いてください
⑤ 給排気筒・排気筒・排気口に、外れ、変形、 すす汚れなどの異常はありませんか？	☐	☐	販売店またはメーカーまで ご連絡ください
⑥ ゴム製送油管が古くなり、 ひび割れが入っていませんか？	☐	—	
⑦ 接続部の油漏れはありませんか？	☐	☐	
⑧ 機器より水漏れはありませんか？	☐	☐	
⑨ 外装がさびていませんか？	☐	☐	
⑩ お湯が熱くなったりぬるくなったりして いませんか？	☐	☐	
⑪ 時々着火しづらくなっていませんか？	☐	☐	

長期使用した製品の点検を行う制度をご存知ですか。

石油給湯機・石油ふろがまは長期使用製品安全点検制度の対象です。長期使用製品安全点検制度は、事故の未然防止のため、ある一定期間を経過した製品に対し点検を行う制度です。